



つもりっこ

令和5年7月11日
第7号
益城町立津森小学校

台湾の大甲國民小学校の子どもたちとのオンライン交流

益城町と台湾台中市大甲区との間に「友好交流協定」が締結され、その協定を受けて、教育面における「こども国際交流」が進められています。その「こども国際交流」では、台中市大甲区において「大甲の聖人」として語り継がれている志賀哲太郎先生がここ津森校区出身ということで、志賀先生が勤務されていた大甲國民小学校と出身地区の津森小学校との交流が昨年度からスタートしています。

今年の1月の職員同士のオンライン交流を経て、3月に1回目の子どもたち同士のオンライン交流会を開き、2回目のオンライン交流会を6月30日に実施しました。

今回は右記の内容での交流を行いました。自己紹介や日本紹介、さらには校歌の歌詞の内容を英語で伝えることに挑戦する場面も見られ、子どもたちのコミュニケーション力の上達がとても感じられた交流会でした。

これからさらに回を重ねるにつれて、台湾の友だちを身近に感じ、国際的な視野を広げていくとともに、あらためて多くの偉人を輩出した「ふるさと津森」のよさにも気づかせていく取組にしていきたいと考えています。

交流会プログラム

- 1 自己紹介と日本（台湾）紹介
- 2 お互いの校歌披露
- 3 音楽（リコーダー）演奏
- 4 質問タイム



授業参観、学級・地区懇談会へのご参加ありがとうございました

3日（水）の授業参観及び学級・地区懇談会にお越しいただきありがとうございました。学校では、子どもたちの主体的な学びや表現力を大切にした授業を目指して取り組んでいるところです。子どもたちの学習の様子はいかがでしたでしょうか。

さて、学校では、大雨の対応と合わせて、熱中症予防の対策にも取り組んでいます。ここ数日、熱中症の危険度を判断する指標の1つである「暑さ指数(WBGT)」をもとに、昼休みの運動場での遊びを制限する日々が続いています。子どもたちが楽しく外遊びをしている姿が見られないのは残念ですが、体調管理を第一にしています。梅雨のシーズンのさなかではありますが、ご家庭でも皆様の体調管理に十分気をつけて過ごされてください。

